

# 卒論の為のガイダンスを企画する。 ー立ち見の出るコンテンツー

2007年10月12日

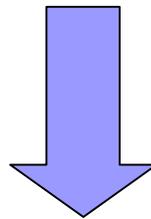
大阪会場 8班

F:指導内容(サービスメニュー、コンテンツなど)



## 現状(問題点)

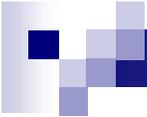
- 図書館主催のガイダンスの集客力が低い。
- 授業の一環のガイダンスは学生のモチベーションが低い。
- 1・2年生までに受けてきたガイダンス(ex. DB講習会)が活かされていない。
- 難しいガイダンスだという印象をもたれている。
- コンテンツを詰め込みすぎている。



図書館が十分に活用されていないのでは？

## 解決策(コンテンツ編)

- 興味ある課題を自分で実際に解決する。  
(聞くだけにしない)  
    **図書館員が個別にサポートしながら。**
- 講習会の所要時間はメニューにより変える。
- 少人数制で、多くの回数を実施する。
- メニューを複数作成し、組合せ可能にする。



# 立ち見の出るコンテンツメニューとは？

## 1. 総論

卒論とは何か？

文献調査の意義を理解してもらおう。

## 2. 文献調査・収集

DB検索、ILLなど

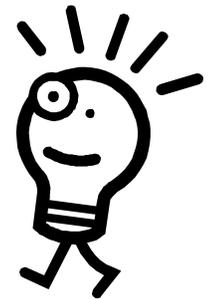
## 3. 文献の整理

情報シート

# 解決策 ( P R 編 )

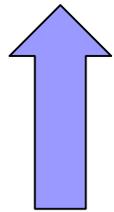
- 講習会のタイトルをわかりやすく。  
(何に役立つか)
- 先生との密な連絡・協力
- ポスターのデザイン  
講習会用キャラクター
- 効果的な広報  
ちらし配布、メール

僕、8班の  
卒論  
はぢめ君

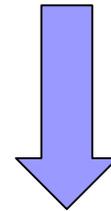


# まとめ

図書館の信頼度UP → 有益なガイダンス



図書館の活性化



学生の満足度UP ← 良い卒論が出来る

ご清聴ありがとうございました。

